

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名		国保連合会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
	施策	5 健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	西本理喜子
	施策の柱	22 保険医療制度の健全な運営				所属班	国保年金班	(内線)	2136
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法	
		国保	1	1	2	10390			
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		
								成果優先度評価結果	⑫
								コスト削減優先度評価結果	—

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・国保連合会に対する会員負担金及び広報事業に対する保険者負担金を支出する。・国保事業の目的を達成するため、診療報酬の審査支払業務、広報活動等を委託している。・有名タレントを起用してテレビ放映がされており、年々制度の理解が得られている。
【業務の流れ】	必要額を国保連合会に支払う。
【主な予算費目】	01総務費 01総務管理費 02連合負担金
【意見や要望】	特段聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
規定どおりの負担金支払い。		平成28年度と同じ	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 負担金額	千円	負担金・保険事業等支援金の減	
⇒ イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
⇒ 熊本県民		⇒ ア 熊本県民	人
⇒ イ		⇒ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
⇒ 広報活動を行い国民健康保険制度の普及啓蒙を図る。		⇒ ア 啓発回数	回
⇒ イ		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
国民健康保険を県民に啓発することで、制度への理解が得られるため。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標		ア イ	千円 -----	2,777 -----	2,800 -----	2,811 -----	3,075 -----	2,800 -----	2,800 -----	2,800 -----	
② 対象指標		ア イ	人 -----	1,786,960 -----	1,779,754 -----	1,792,000 -----	1,765,940 -----	1,790,000 -----	1,790,000 -----	1,790,000 -----	
③ 成果指標		ア イ	回 -----	312 -----	292 -----	400 -----	0 -----	400 -----	400 -----	0 -----	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円	2,778	2,777	2,811	3,075	2,768	2,800	2,800	
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	2,778	2,777	2,811	3,075	2,768	2,800	2,800	0	
		(A)のうち指定経費	千円	2,778	2,777	2,729	3,075	2,688	2,800	2,800	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	6	4	5	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	40	60	0	50	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	159	222	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,937	2,999	2,811	3,075	2,768	2,800	2,800	0	

事務事業名	国保連合会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 予算編成時に国保連合会より額が示されるため、大幅な削減はない。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 広報活動もテレビ、ラジオ、新聞等で行われているが、従来以外の全く新たなメディアも今後ないとはいえないため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国保連合会広報事業規則に基づいている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 平等割、被保険者数等基準に基づいているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 人件費はほとんどかかっていない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全国保加入者に係ることであり公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲である。

3 評価結果の総括（CHECK）

テレビで朝や夕方の時間帯に、タレントを使った国保啓発CM（特定健診受診促進、健康づくり、保険税収納促進の3タイプ）が放送されているのを見かけるので、啓発効果は上がっていると思われる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												